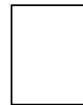




【XP＋ハーセプチン療法について】
(ゼローダ＋シスプラチン＋ハーセプチン)



様



コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前			作用			めやすの時間			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
ハーセプチン注	抗がん剤です	90分	2回目から投与時間が短くなる場合があります。																								1日目			
アプレピタントカプセル	吐き気止めです	1日1回 内服	[カプセルのイラスト]																								1日目			
パロノセトロン注 デキサート注	吐き気止めです	30分	1回 [注射のイラスト]																								1日目			
シスプラチン注	抗がん剤です	1時間	[注射のイラスト]																								1日目			
ゼローダ錠	抗がん剤です	朝・夕 内服	[錠剤のイラスト]																								1日目			

★治療日は、点滴開始～シスプラチン投与終了までに1000mL以上の水分をとりましょう。
治療翌日、翌々日は食事など通常の摂取量に加えて、1日あたり1000mL程度の水分を追加摂取しましょう。

😊 **治療による副作用**

[青い塗りつぶし] : 注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	アレルギー様症状	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
	食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
	口内炎	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行きましょう。																					
	下痢	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水のような便が出る場合はお知らせ下さい。																					
	手足症候群	手足がチクチクと痛い、赤く腫れる、ひび割れ、水泡が生じることがあるので、保湿剤を使い手足の乾燥を予防しましょう。																					
	手足のしびれ	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。冷たい物に触れないようにしましょう。																					
	色素沈着	肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																					
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配すぎないでください。																					
検査値	白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																					
	血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																					
	腎機能低下	顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																					
	肝機能低下	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																					

心機能低下(治療回数が増えると生じることがあります。息苦しさなどがありましたらお知らせ下さい。)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。